

令和4年度

# 法人運営事業報告

社会福祉法人

わらしべ舎

## 令和4年度 社会福祉法人わらしべ舎 事業報告

新型コロナウイルス感染症がなかなか収まる気配が見えない中で、令和4年度がスタートした。法人の各事業所でも、感染予防に取り組みながら事業を進めてきたが、利用者や職員が感染罹患や濃厚接触者などから、4度の施設閉所（8月23日～9月1日・11月16日～17日・12月3日～4日・12月29日～1月7日）があり、事業の進捗や経営に影響が見られた中で、利用者が安心・安全に通所し活動ができるために感染症対策マニュアルにそって予防と対策を講じながら、事業運営に取り組んできた。

### 1. 組織体制の強化と安定的な経営・運営の取組

4月に、各事業所にそれぞれ管理者を配置し運営を行うことで、事業所体制の強化を図った。（各事業所の令和4年度事業報告の詳細は別紙の通り）また、幹部会議や職員会議等を通して事業所の状況・課題・問題の報告を行うことで職員間でも情報共有に努めた。短期・日中一時支援事業「ひだまりスティ」は、利用希望者が増えていることから、そのニーズに応え、稼働日数増及び収入増へと繋げるために職員を増員した体制整備が課題である。コロナウイルス感染症のため施設閉所日における取組では、各事業所間の連携とそれぞれの機能を活用した体制を取ることで、利用者が安心・安全に通所できる環境整備に取り組んできた。

予算の執行に関しては、コロナウイルス感染症のため事業所の閉所日4回や利用者個々の健康上の理由等により通所できない利用者がいたこともあり、障害福祉サービス等事業収入の減収やエネルギーの高騰、物価高など予算執行上に影響は出たが、国、県、市から発出される様々な支援策の情報を収集しながら、補助金や助成金の活用と会計事務所からの適切な指導を受け、補正予算を組むなどして、経営に支障が出ないように対応しながら安定した経営に努めた。（補助金の活用により西多賀工房の照明をLED照明に変えた。業務の効率化のためのIT機器導入）30周年記念誌については、幹部が中心となり、発刊を目指して取り組みを進めた。

### 2. 危機管理体制の強化の取組

コロナウイルス感染症対策については、濃厚接触者や罹患者となった利用者や職員への対応、施設閉所時の対応（家族への協力、グループホームでの待機、ひだまりスティの活用）など、感染症対策マニュアルに沿いながら対応を取り、職員は検査キットによる感染の有無の確認、マスクの着用、消毒、手洗いの徹底に努めながら利用者への支援を行った。また、密になりがちな送迎車内は窓の開閉の徹底、施設内の定期的な換気の徹底、利用者へもマスク着用の声掛け（着用が難しいケースについては職員が介助しての着用やケースバイケースでの対応）を行い予防に努めた。

事故防止については、事故防止対策委員会による報告と対策を毎月の会議の中で行うことで、職員間で共有を図り、利用者が安心・安全に活動できる環境への取り組みと事故防止に努めた。また、職場の労働環境や安全点検を行い、働きやすい環境づくり目指して安全衛生委員会（7回）を開催した。第三者委員会については、12月に開催予定であったが、コロナ感染のため開催する事が出来ず資料を送付して委員からの意見を求めた。

### 3. 人材確保と人材育成の取組

新規採用職員10名を4月に迎え入れスタートし、新規職員についてはチューター制度を実施して育成に努めた。5月には、次年度採用に向けた職員採用試験を実施（5名応募）して、3名の内定者を決め、その後、随時採用試験を実施し新たに3名の採用を行い、合計6名の新規職員の確保に努めた。なお、退職者は7名（年度の途中を含む）であった。

職員育成のための研修については、コロナ禍により外部研修への参加は難しいことから、内部研修を実施して（8回）職員のスキルアップを図った。特にグループホームでは、世話人の研修会を（3回予定したがコロナの影響で1回）実施してスキルアップを図った。

### 4. 各種団体との連携と情報発信の取組

ホームページに各事業所の活動内容や行事の状況等を掲載し、適時更新しながら情報発信に努めた。また、各種福祉団体との連携では、仙団協や仙台市グループホーム連絡会と会議への出席や情報交換を行い連携を図った。

地域との関係では、コロナ感染の状況もあり商店街主催の行事等への参加はできなかったが、従来から行ってきた天沼活動については取り組んできた。

また、わらしべ商品（カレーや石けん等）の認知度を上げるためスーパーに設置してある商店街のブースにチラシを置き、外部販売にも積極的に参加（36回）してPRに努めた。

羽黒台工房が取り組んでいるアート活動では、作品の展示・販売・応募等を通して他のアート団体や企業と連携することで情報発信を行った。

会議等開催状況

会議名	日 時	開催場所	参加者	内 容
監事監査	5月24日(火)	わらしべ舎 西多賀 食堂	監事2、理事長 施設長、事務長 会計事務所2	2021年度決算 及び事業の監査 他
第1回 理事会	5月28日(土)	西多賀 市民センター	理事6 監事2 施設長3	2021年度事業 決算報告 他
第1回 評議員会	6月9日(木)	西多賀 市民センター	評議員7 理事長、施設長事 務長 監事2	2021年度事業・ 決算報告 他
第2回 理事会	11月26日(開催中止) コロナ感染のため書面審査にて開催する			上半期事業報告 他
第三者 委員会	12月14日(開催中止) コロナ感染のため開催中止とし、委員会で使用する資料(前年度の事故件 数及び対策等)を送付して意見を求める			
役員懇談会	R5年 2月18日(土)	西多賀 市民センター	理事・監事・評議 員・施設長が参加	各事業所報告及び 意見交換 他
第3回 理事会	R5年 3月11日(土)	西多賀 市民センター	理事5名 監事2名 施設長3名 事務局1名	2023年度事業 計画及び予算案 他
第2回 評議員会	R5年 3月29日(水)	西多賀 市民センター	評議員6名 理事3名 施設長3名 事務局1名	2023年度事業 計画案及び予算案 他

その他

仙団協役員会 及び総会	6月15日(水)	福祉プラザ 会議室	前年度事業報告及び決算 他
仙団協役員会	8月5日(金)	福祉プラザ 会議室	仙台市への要望書について 他
仙団協役員会	8月10日(水)	仙台市役所	仙台市への要望書提出と意見交換

・令和5年1月27日(金)

仙台市における社会福祉法人一般監査の実施

令和4年度  
事業報告

- \*多機能型事業 わらしべ舎西多賀工房（生活介護・就労B型）
- \*日中一時支援事業（わらしべ舎西多賀工房）
- \*共同生活援助事業（グループホームわらしべ舎）
- \*短期入所・日中一時支援事業（ひだまりステイ）
- \*生活介護事業 わらしべ舎羽黒台工房
- \*日中一時支援事業（わらしべ舎羽黒台工房）

社会福祉法人

わらしべ舎

# 多機能型事業所わらしべ舎西多賀工房

## ＜生活介護事業報告＞

### 【本年度重点目標】

- ① 利用者の作業能力の向上と個々の活動の幅を広げる
- ② 余暇活動の充実と多様化を図る
- ③ 売上向上に向けた商品開発と委託作業の拡大を図る
- ④ 支援員間の連携の強化と支援の質の向上及び育成を図る

### 【実施報告】

- \* コロナウイルスの影響により、8月に8日間、12月に3日間、1月に4日間の施設閉鎖を行い、感染拡大防止の対応を行った。自宅療養利用者や自宅待機利用者へは家族も含め、自宅での様子や体調の確認を行った。
- \* イベントの再開や販売機会が増えたことにより、積極的に参加し、エコ班商品（アクセサリ、キーホルダー等）の販売を行い、また利用者の参加にも力を入れて行った。
- \* コロナへの配慮を行いながら、9月にミニ運動会、3月にアートを取り入れた『イースターパーティー』を行い、レクリエーションを実施した。昼食には近隣の飲食店よりテイクアウトを自分たちで選択し、ランチを楽しんだ。
- \* エコ班商品として、お正月飾りを取り入れ、年末の販売に力を入れて取組みました。今まではサークル花みずき（家族の手作りサークル）の商品でしたが、エコ班で引継ぎ、また新たな洋風お正月飾りを製作し、10万円以上の売上に繋げることができた。
- \* 新入職員へはチューター制度を取り入れ担当者を配置し、自分で目標を立てて取組むことや日々の業務の不明点や悩み事などを継続して話をしていく機会となり、関係づくりや支援力の向上に繋がった。

### 今年度主だった動き・取組・出来事等

主だった動き・取組・出来事等			
4月	・新入職員3名入舎 ・コロナワクチン接種3回目 ・天沼環境整備活動スタート	10月	新商品「お正月飾り」づくり、開始
6月	・天沼環境整備活動（地域合同）	12月	コロナ感染拡大により、3日間の施設閉鎖
7月	健康診断（検診車）	1月	コロナ感染拡大により、4日間の施設閉鎖
8月	・コロナ感染が拡大し8日間施設閉鎖	2月	
9月	・コロナワクチン接種4回目 ・天沼環境整備活動（地域合同） ・エコ運動会&楽しみランチ	3月	・レク「イースターパーティー」&お楽しみランチ ・嘱託医検診

## ＜就労継続支援B型事業報告＞

### 【本年度重点目標】

- ① 一人ひとりの個別ニーズに適した作業や生活の支援を充実化させます
- ② 支援員の支援技術や製造技術の向上・効率化を図ります
- ③ 工賃アップにむけたサービス内容の向上と広報活動の強化を行います
- ④ 食品や製品の衛生管理を徹底します

### 【実施報告】

- \* コロナウィルスの影響により、8月に8日間、12月に3日間、1月に4日間の施設閉鎖を行い、感染拡大防止の対応を行った。自宅療養利用者や自宅待機利用者へは家族も含め、自宅での様子や体調の確認を行い、自宅待機期間中に自宅で行う作業の提供も行った。
- \* 9月、施設間異動でカレー班に1名利用者が入舎し、就労B利用者23名、事業所全体で43名の在籍利用者数となった。
- \* 8月より、利用者1名がわらしべ舎の近隣にある会社（株式会社サンパワー）に施設外就労（作業）として、働くことになった。週2日、3時間、業務（中古タイヤの石取作業、掃除等）を行っている。
- \* 4月より、新レトルト商品「キーマカレー」の販売がスタートした。
- \* 原材料費・光熱費の高騰により、商品価格・メニュー・サービス等の見直しを行った。
- \* イベントの再開や販売機会が増えたことにより、積極的に区役所の販売やイベントへの出店を行い、利用者の意欲の向上や収益アップに繋げることができた。また、移動販売車（キッチンカー）の売上については昨年度比でプラス120万円の売上を上げることができた。
- \* 粉せっけんの量り売り販売を開始した。

### 今年度主だった動き・取組・出来事等

4月	・新入職員1名入舎 ・コロナワクチン接種3回目 ・新レトルト商品“キーマカレー”発売	10月	お歳暮セール開始
		11月	・カレー班ランチレクリエーション ・衛生講習会
6月	お中元セール開始 衛生講習会	12月	コロナ感染拡大により、3日間の施設閉鎖
7月	健康診断（検診車）	1月	コロナ感染拡大により、4日間の施設閉鎖
8月	・コロナ感染が拡大し、8日間施設閉鎖 ・(株)サンパワーへ利用者1名、施設外就労（作業）へ	2月	・石けん班ランチレクリエーション ・接客講習会
9月	・利用者1名カレー班に入舎 ・コロナワクチン接種4回目	3月	嘱託医検診

### 日中一時支援事業（わらしべ舎西多賀工房）

ひだまりステイが利用しやすい場所にあることもあり、また積極的にひだまりステイにて日中一時の受け入れを行っている効果もあり、西多賀工房での受け入れは1件もない状況でした。

## ●わらしべ舎 西多賀工房 利用実績

(R4. 4月～R5. 3月)

	稼働 日数	生活介護事業			就労継続支援B型事業					
		エコ班			カレー班			石けん班		
		在籍 者数	利用実 績日数	利用率	在籍 者数	利用実 績日数	利用 率	在籍 者数	利用実 績日数	利用率
4月	21	20	408	97%	11	215	93%	11	216	94%
5月	18	20	346	96%	11	192	97%	11	192	97%
6月	22	20	428	97%	11	228	94%	11	237	98%
7月	22	20	367	83%	11	225	93%	11	230	95%
8月	20	20	300	75%	11	198	90%	11	207	94%
9月	21	20	380	90%	12	227	90%	11	216	94%
10月	21	20	408	97%	12	241	96%	11	222	96%
11月	20	20	381	95%	12	215	90%	11	203	92%
12月	21	20	320	76%	12	185	73%	11	171	74%
1月	20	20	327	82%	12	170	71%	11	169	77%
2月	18	20	347	96%	12	202	94%	11	188	95%
3月	22	20	414	94%	12	238	90%	11	234	97%
合計	246	20	4,426	90%	12	2,536	89%	11	2,485	92%



## 共同生活援助事業所（グループホームわらしべ舎）

### 【本年度重点目標】

- ① 「支援体制の確立」、「人材育成」に取り組んでいきます
- ② 余暇の充実を行います
- ③ 各ホーム入居者特性に合わせたサービス内容の確立を行います
- ④ 支援者のスキルアップを行います
- ⑤ 緊急支援体制の確立を行います

### 【実施報告】

- \* ハーモニ－西の平では2回（8月、12月）のコロナ罹患者発生。また、秋頃からは全ホームにて濃厚接触者対応（通所やご家族等の罹患により）が頻回に発生し、その都度対応を協議し法人全体で取り組んだ。※濃厚接触者や罹患者対応は世話人勤務では無く（重症化リスク回避の為）、法人職員で行った。また、コロナ経験を活かし、現場対応マニュアル（平事、有事）の作成を行った。
- \* 職員の支援体制では他施設（法人内）からの異動者1名、新入職員2名、世話人1名の入職があった。また西多賀工房・羽黒台工房の新入職員のGH研修を早い段階に行い、支援体制に入れるようにした。
- \* 羽黒台工房の看護師の協力を得て「感染症について」をテーマに世話人ケア会議にて研修会を行った。
- \* 世話人18名のうち、年齢が60代5名、70代10名、平均年齢67.4歳となっております。新規の世話人採用は1名のみにとどまり、世話人にかなり頼る形での今までの支援体制では継続していくことが難しい状況となっている。
- \* 各ホームの宿泊率は昨年度と比較し、1ホームを除いてほぼ上昇している。家族の高齢化に伴い、ホームでの受入れ、通院等の支援が必要となっている。（西の平B宿泊率の減少は長期欠席者がいたため）
- \* コロナ感染状況により、移動支援のサービス内容制限がかかる期間はあるが、前年度に比べヘルパー利用件数は少しずつ増加し、休日の余暇を楽しむ機会となった。

●わらしべ舎 各グループホーム 宿泊実績

(R4. 4月～R5. 3月)

項目 月	総宿泊数	山田北前 (女性・4)	総宿泊数	金剛沢 (男性・4)	総宿泊数	西の平 (女性・10)	総宿泊数	西の平 (男性・10)
4月	120	82	120	82	300	194	300	223
5月	124	90	124	79	310	217	310	211
6月	120	97	120	90	300	224	300	232
7月	124	94	124	91	310	242	310	260
8月	124	90	124	90	310	238	310	204
9月	120	92	120	85	300	245	300	226
10月	124	93	124	90	310	240	310	234
11月	120	98	120	83	300	242	300	227
12月	124	81	124	82	310	270	310	256
1月	124	102	124	82	310	260	310	246
2月	112	93	112	83	280	224	280	209
3月	124	99	124	95	310	254	310	246
合計	1,460	1,111	1,460	1,032	3,650	2,850	3,650	2,774

●各グループホームの昨年度との比較

ホーム名	総 宿 泊 数		実 宿 泊 数		率	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
山田北前 (女)	1,460	1,460	986	1,111	68%	76%
金剛沢 (男)	1,460	1,460	904	1,032	62%	71%
西の平 (女)	3,660	3,650	2,690	2,850	74%	78%
西の平 (男)	3,660	3,650	2,445	2,774	67%	76%
計	10,240	10,220	7,025	7,767	70%	76%

●R4. 4月～R5. 3月 GHにおける宿泊実績

	総宿泊数	実宿泊数	率
昨年度	10,240	7,025	70%
今年度	10,220	7,767	76%

## 短期入所・日中一時支援事業所（ひだまりステイ）

### 【本年度重点目標】

現状の利用実績を維持しながらもより多様な利用ニーズに対応できるよう、法人内外の資源を最大限活用して契約利用者の生活環境の安定に貢献していく。

### 【実施報告】

- \* 4月より新規10名の契約し、回数は少ないが利用に繋がっている。加えてこれまでご利用がなかった方の定期利用の希望が増え、受け入れることが出来た。
- \* 利用実績について8月から9月にかけての期間と、1月は新型コロナウイルス感染緊急対応実施に伴い、マニュアルに沿ってひだまりステイを活用した。半面事業所を休業することとなり短期入所、日中一時支援事業としての実質稼働日が減ることとなった。
- \* ご家族（お母様）からの相談が多くなり、ご本人ご家庭の状況に合わせた利用が出来るように利用日を調整している。
- \* 利用者・家族、相談事業所とも良好な関係を築き、普段の情報共有もできている。

### ●利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日中一時	19日	24日	15日	21日	14日	13日
短期入所	18回	20回	12回	20回	8回	8回
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日中一時	26日	26日	26日	17日	26日	27日
短期入所	24回	24回	24回	10回	24回	28回
	総実施日数		月平均日数		目標達成率	
日中一時	254日		21日		105%	
短期入所	220回		18回		90%	

## 生活介護事業所（わらしべ舎羽黒台工房）

### 【本年度重点目標】

- ① アート活動を通して、利用者の表現する力を引き出し、表現する喜びにつなげていく
- ② 地域社会へ取り組みや作品、表現、魅力を発信していく
- ③ 利用者・職員すべての人が自分の役割を見つけていく
- ④ 利用者の能力（持っている力）の発見・維持・向上をさせていく
- ⑤ 利用者が毎日元気にえるようにしていく

### 【実施報告】

#### ◆アート活動

- ・今年 4 月より【それぞれの個性=ユニークをアートに昇華する】をコンセプトとしたアートプロジェクト『ユニークアート』を立ち上げ活動をスタート。精力的に SNS での情報発信（HP、インスタ、NOTE）やアート企画、イベントや販売などに『ユニークアート』の名前で参加することで地域の方中心に周知するきっかけになってきており、近日は販売等でユニークアートの名前での出店依頼も増えてきている。また商品販売自体も舎割や通信販売も今年度より開始し、昨年度より売り上げを伸ばすことが出来た。更に近日の活動を見て声をかけていただきユニークアートとしてディレクション依頼を受け、そちらも売り上げに繋げることが出来た。
- ・SNS 等で、利用者の活動の様子や作品、展示その都度発信した事で、外部からアート企画への参加やユニークアート（わらしべ舎利黒台工房）への出店依頼に繋がった。

#### ◆機能訓練（リハビリテーション）

西多賀工房・羽黒台工房職員に向けて、リハビリテーション研修を行った。リハビリテーションの概要や具体的な実践内容、検討等について発表し、それらを踏まえて支援員と同一の目的意識を持った支援の共通の理解を促した。

#### ◆医療的ケア

毎日利用者全員の検温・血圧・酸素飽和度の測定を実施し、月に 1 回血圧・体重測定を実施して健康状態を把握するよう努めた。利用者の体調不良時にはバイタルサイン測定等状態を観察し、必要なケアを実施することでご家族と連携が出来た

### 今年度主だった動き・取組・出来事等

4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入舎式（新入利用者 8 名）</li> <li>・新入職員 5 名入舎</li> <li>・コロナワクチン接種（3 回目）</li> </ul>	10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィンパーティー</li> <li>・健康診断</li> </ul>
		11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染拡大により 3 日間施設閉鎖</li> </ul>
6 月		12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大により 3 日間施設閉鎖</li> <li>・クリスマス会</li> </ul>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染拡大により 2 日間施設閉鎖</li> </ul>	1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大により 4 日間施設閉鎖</li> <li>・成人のお祝い会</li> </ul>
8 月		2 月	
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種（4 回目）</li> </ul>	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>お疲れさま会（送別・壮行会）</li> </ul>

●羽黒台工房（ R4. 4月～R5. 3月 ）

	稼働日数	生活介護事業		
		在籍者数	利用実績日数	利用率
4月	21	27	523	92%
5月	18	27	447	92%
6月	22	27	547	92%
7月	22	27	459	77%
8月	20	27	465	86%
9月	21	27	496	87%
10月	21	27	520	92%
11月	20	27	425	79%
12月	21	27	408	72%
1月	20	27	390	72%
2月	18	27	430	88%
3月	22	27	519	87%
合計	246	27	5,629	85%

日中一時支援事業（わらしべ舎羽黒台工房）

定期的に利用する利用者が2名おり、1名は入浴サービスを希望し、日中一時支援を利用時に車いす浴槽設備を使用して利用している。利用者1名、家族の長期入院のため受入れを行った。

【利用状況】

月	件数	時間	月	件数	時間
4	1	5時間	10	3	9時間
5	2	6時間	11	1	2時間
6	2	6時間	12	3	7時間
7	2	5時間	1	2	2時間
8	1	4時間	2	2	4時間
9	1	4時間	3	2	10時間
合計			22件		64時間

